

指導仮説

【3年後にめざす姿】

- ・相手を意識した言動や、場に応じた言葉遣いができる。
- ・必要と思われることを、自分で伝えられる。
- ・自己の行動を調整できる。

将来の夢、保護者の願い、地域生活の観点を考慮して。課題に基づき、3年後の具体的な姿をイメージできる。

3年後の姿と現在の実態、生活年齢を考慮して。中心課題から徐々に3年後に迫るイメージ。

【1年後にめざす姿】

- 1 毎時間の学習や一日の生活を振り返る中で、自己評価をする。
- 2 人との適切な距離感がわかる。

【指導仮説】

将来の願いを考えたときに、相手を意識した言動や、場に応じた言葉遣い、必要と思われることについて、自分で伝えられる力、そして自己の行動を調整できる力が必要と考えている。

その姿に近づけていくためには、自分の行動を客観視できること、自己肯定感を高めることが必要と考える。

まず自己の長所に気づかせるために、肯定的に捉えられる自己評価の作成、また、その後は自己を客観視する中で直していき、自分も自己評価できるような機会を設定していきたい。また、振り返りの振り返り、人との関わりの観点を示すことで、適切な距離感について考え、判断できる地を作ることができるのではないかと考える。

課題関連図に基づく仮説の設定→設定の根拠を示しながら説明ができる。

課題の抽出や、関連図作成の協議の過程から。客観性、課題の共有。

【現在の姿（課題関連図より）】

現在まだ自己を客観視すること、そして自己の行動を評価することができていない。そのため自己の行動が他者にどう評価されているかを気にすることや、それを受けて自分の行動を自己調整することが難しく、一方的な関わりになりがちである。

また、自己肯定感が低く、自分に自信をもてていない。その理由の一つとして、自分の長所を自分で理解できていないことがあると思われる。そのことが、改まった場で自分の思いを言葉で伝えることを難しくしているのではないかと捉えている。

取り組みの実際 個別の指導計画の見直し

からだの時間(時間における指導)

自分の障害を知る

機能保持の必要性を知る

自立活動教諭と連携

自ら取り組めることをめざす

学校教育全体を通じた自立活動

後期の指導計画に追加

「自己評価する中で、よい点
や改善点を見つける」

中心課題
に迫る

取り組みの実際

学校教育全体を通じた指導の実際

振り返りシート

自分ががんばったと思うことを記述する。

振り返る→次はこれがんばろう→取り組み

3 時間目	国語	数学	社会	理科	英語
勉強を	がんばれた				もうひといき
がんばったこと	てっだいをすすんでできるとは				
さいさいのてっだいは					
つぎの 時間に がんばること					
☐ すわって 勉強 ☐ 立腰 ☐ 話の 聞きかた ☐ 発表する ☐ 挑戦					

4 時間目	国語	数学	社会	理科	英語
勉強を	がんばれた				もうひといき
がんばったこと	どうして たくさんあるから、おぼ				
テストの できり					
あしたの 勉強で がんばること					
☐ すわって 勉強 ☐ 立腰 ☐ 話の 聞きかた ☐ 発表する ☐ 挑戦					

各教科最後の5分で実施

肯定的なコメント→自己肯定感向上

この他に...

- ・ 自立活動の場面で。
- ・ 帰りの場面で。
- ・ 昼清掃の場面で。

自分を客観視する機会を増やす

取り組みの実際

教科の目標の見直し

～国語科を中心に～

前期目標

知識、理解重視
〇〇ができる。

- 漢字が読める。
- 流暢に読む。
- 内容を読み取る。
- パソコンで打つ。



後期目標

人間関係、コミュニケーション面
の課題を考慮して

- 友達に説明できる。
- 要点を捉えて説明する。
- 間違いに自ら気が付いて正す。
- 想像して読む。

- ・相手に伝える。
- ・相手の気持ちを考える。

取り組みの実際 情報共有と指導方針の共通理解

学年団の教員に向けて…

指導の方向性の統一

- ・他者との距離の基準は…
- ・お願いのしかたは…
- ・あいさつやお礼は…

各教科の担当者に向けて…

学習規律の統一

授業後の振り返り

授業形態の工夫

- ・座って学習、返事、など…
- ・話し合いの場面を多く…
- ・最後の5分で振り返りを…

指導方針の根拠は、課題関連図の課題